



コメについている^{むし なん}虫は何なの

鼻^{はな}の長いゾウ^{なが}に似た^に形^{かたち}のゾウムシ

コメびつに入れたままのコメから、2～3ミリメートルぐらいの^{ちい}小さな^{くろ}黒い^{むし}虫^でが出てくる
ことがあります。これは、豆^{まめ}とか、クリ^みの実^{はい}などに入っている^{むし}虫^{おな}などと同じ、ゾウムシ^なの仲間^な
である、コクゾウムシ^なです。

この^な仲間^なの、口^{くち}が^{なが}長く^{よう}のびた^す様^{はな}子が^{なが}、鼻^{はな}の長いゾウ^{なが}に^に似^にている^{こと}から、ゾウムシ^なという
名前^なが^なつきました。成虫^{せい}は^{ちゅう}木^も材^{くざい}や石^{いし}の下^{した}で冬^{ふゆ}を^がこし、3月^{がつ}～10月^{がつ}まで活動^{かつどう}します。

コメの一つ^{たまご}ぶごとに^う卵^{たまご}を産^うみつける

まだ、精米^{せいまい}していない^{たまご}コメ^うつぶの一つ^{よう}ずつに^{ちゅう}卵^{たまご}を産^うみつけ、幼虫^{よう}は^{ちゅう}コメ^たを食^{せい}べて成^{せい}長^{ちゅう}
し、コメ^なつぶの中^{なか}で^{せい}さなぎ^{ちゅう}になり、成虫^{せい}になっ^てて出^でてきます。コメ^なつぶの中^{なか}に入^{はい}った^{よう}幼虫^{ちゅう}
のまま、冬^{ふゆ}を^{ねん}こす^{かい}ものも^{はっ}います。1年^{ねん}に3～5回^{かい}も^{はっ}発生^{せい}します。また、7～8月^{がつ}ごろなら、
30日^{にち}ぐらいで、卵^{たまご}から^{せい}成虫^{ちゅう}になります。

1^こぴきのメス^{たまご}は、60個^うぐらい^{みょう}卵^{げつ}を産^{なが}み、じゅ^{こく}命^{もつ}が4か^な月^{こく}ぐらいと^{なが}長く、穀物^{こくもつ}にあ^たえ
る被害^{ひがい}が^{おお}大きい^{ので}、きらわれ^{もの}です。

倉庫^{そうこ}で、コメ^{くすり}に^{しよ}コクゾウムシ^りが^{はっ}つかない^{せい}薬^{せい}で^{はっ}処理^{せい}をして^あると、発生^{はっ}しに^くく^なります。
しかし、最近^{さい}は、農薬^{のう}など^{やく}と同^おじ^なように、コメ^のに残^{くすり}った^{がい}薬^{しん}の害^{ばい}を^{つよ}心配^{しよ}して、あ^まり^{しよ}強い^り処理^り
は^しない^{よう}です。その^{むし}ため、虫^{はっ}が^{せい}発生^{せい}し^しやす^くな^なっている^{とい}え^ます。

ガ^{よう}の^{ちゅう}幼虫^{ちゅう}も^たコメ^たを食^たべる

コメ^{いと}つぶが^{いと}糸^{いと}の^{むし}ような^だもので^くっ^ついたり、う^{むし}じ^だ虫^だが^はい^だ出^だして^きたり^するのは、コクガ^{こく}
という、ガ^{よう}の^{ちゅう}幼虫^{ちゅう}が^ついた^たため^{です}。(監修^{かんしゆ}・中山^{なかやま} 周平^{しゅうへい})

